

ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 11.21-22

BRP
BIRTH RACING PROJECT

Race Report



Super Taikyu 2020 Series Round-4 / MOTEGI

(2020.11.21-22)

ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 11.21-22

BRP
BIRTH RACING PROJECT

開幕戦の富士24時間以降3時間のショートレースが続いていましたが、第4戦もてぎからは長丁場の5時間レースとなり、オープニングラップでライバルと接触によりタイヤがバーストして緊急ピットインにより2LAPダウンとなり、その後そのビハインドを取り戻す事が出来ずに、ST-Zクラス5位でレースを終えました。

バースレーシングプロジェクト【BRP】は2020年11月21日～11月22日に開催された「スーパー耐久シリーズ第4戦 ツインリンクもてぎ」において、国内初導入のPORSCHE 718 Cayman GT4 MRを投入し、予選は後方に沈みますが、スタートダッシュを見せてオープニングラップで、数台オーバーテイクしますが、その際ライバルとの接触によりタイヤをバーストしてしまい、予定に無い緊急ピットインにより、2LAPダウンとなり、その後コンスタントに順位を上げていきますが、そのビハインドを取り戻す事が出来ずにST-Zクラス5位の悔しい結果で終わりました。

【11月19日(木)フリー】

全てのドライバーが揃い、本格的なレースウィークがスタートしました。福田選手・塩津選手を中心としたLAPタイムの向上の為に走行メニューを組み、エースの松本選手により予選・決勝レースに備えて勢力的にセットアップチェックと練習走行を行いました。



ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 11.21-22

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【11月20日(金)フリー】

金曜日のフリー走行を車両・ドライバー共に順調にメニューを消化して走行を進めます。国内初導入のPORSCHE 718 Cayman GT4 MRのパフォーマンスアップの為にセットアップを積極的に進め、ブレーキパットの開発も並行して進めていきました。国内初導入の車両という事もあり、今年は車両の熟成を高める期間として設定しており、とにかく周回を重ねて経験値と実績の蓄積を図ることに専念しました。

【11月21日(土)公式予選】

公式予選がいよいよ始まりました。Aドライバーの福田幸平選手が、2' 02.315のタイムでクラス6位で予選を終えました。続くBドライバーの松本武士選手は福田幸平選手を凌ぐ2' 00.924を記録しますが、クラス4位となり、A・Bドライバーの合算タイムで明日の決勝レースは7番手からのスタートとなりました。続くCドライバー塩津祐介選手・Dドライバー奥村浩一選手も確実に予選基準タイムをクリアして予選を終えました。



ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 11.21-22

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【第4戦ツインリンクもてぎST-Zクラス予選結果】

Aドライバー:福田 幸平 コース:DRY タイヤ:スリック 2'02.315 クラス6位
Bドライバー:松本 武士 コース:DRY タイヤ:スリック 2'00.755 クラス4位
Cドライバー:塩津 佑介 コース:DRY タイヤ:スリック 2'01.375 クラス2位
Dドライバー:奥村 浩一 コース:DRY タイヤ:スリック 2'06.087 クラス4位

1位	No.47	D' station Vantage GT4	4'00.820
2位	No.20	SS/YZ BMW	4'01.535
3位	No.2	ケースフロンティアSYNTIUM KTM	4'01.563
4位	No.23	TKRI松永建設AMG GT4	4' 02.355
5位	No.500	5ZIGEN AMG GT4	4'02.607
6位	No.3	ENDLESS AMG GT4	4'03.009
6位	No.19	BRP★SUNRISE-Blvd 718 GT4 MR	4'03.070
8位	No.21	STP with Studie BMW M4 GT4	4'04.079
9位	No.505	A.T.FILELD Audi R8 LMS GT4	4' 07.903
10位	No.51	Diamango Cayman	4' 21.505



【11月22日(日)決勝】

スタートは松本武士選手が務めました。スタートダッシュで前方のライバルをオーバーテイクしますが、その接近戦の際に、ライバルとの接触により左リアタイヤをバーストしてしまい、序盤で緊急ピットインを余儀なくされました。2LAPのビハインドを負って、5時間のレースを全力で追い上げを開始します。

その後、ルーティン通り、塩津選手・福田選手にしっかりバトンを繋ぎ、再びチェッカードライバーのエース松本武士選手に交代して、最後の追い上げ開始しました。ベストラップを更新して猛追しますが、序盤の2LAPのビハインドを詰める事が出来ずにST-Zクラス5位でレースを終えました。

【第4戦ツインリンクもてぎST-Zクラス決勝レース結果】

1位	No.47	D' station Vantage GT4	142	5:00' 28.020
2位	No.3	ENDLESS AMG GT4	142	5:00' 33.260
3位	No.500	5ZIGEN AMG GT4	142	5:01' 48.868
4位	No.20	SS/YZ BMW	142	5:02' 14.639
5位	No.19	BRP★SUNRISE-BIvd 718 GT4 MR	140	5:01' 59.859
6位	No.21	STP With Studie BMW M4 GT4	139	5:01' 54.969
7位	No.505	A.T.FILELD Audi R8 LMS GT4	137	5:00' 49.697
8位	No.51	Diamango Cayman	132	5:02' 22.902
9位	No.2	ケースフロンティアSYNTIUM KTM	120	5:01' 21.129
DNF	No.23	TKRI松永建設AMG GT4	141	4:59' 08.885



ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 11.21-22

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【コメント】

今回のもてぎ戦は決勝レースオープニングラップの接触による緊急ピットインにより2LAPビハインドがレース結果の全てでした。ですがその後、福田選手・塩津選手の追い上げも素晴らしく、前半戦が見違えるような成長を見せてくれました。その成長が非常に頼もしく今後この経験が必ず勝ちに繋がる糧になると感じました。今まで参戦してきたスーパー耐久のクラスの中で過去最強の激戦区といっても過言では無い今年のST-Zクラスで、いつも以上にもがき苦しんでいる状況ではありますが、苦しんだ分・もがいた分必ずチームは強くそして速くなると信じて、今年のスーパー耐久も残り2戦となりましたが、シリーズチャンピオンを目指し全集中・猪突猛進でチーム一丸となって戦って参ります。この場を借りましてご支援・ご声援頂きました、すべての皆様に感謝とお詫び申し上げます。また引き続きのご支援・ご声援何卒よろしくお願い致します。

株式会社バースモータースポーツ事業部
バースレーシングプロジェクト
代表取締役 奥村 浩一



ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 11.21-22



■BRPパートナー企業



順不同

プレスリリースに関するお問い合わせ先：office@brp.gr.com



BIRTH RACING PROJECT
www.brp.gr.com